

まれびとレジデンス

まれびとレジデンスは、ものかたりを滞在スペースとして提供し、制作・調査・交流・交換を目的として国内外から若手アーティスト、またはリサーチャーを招き、滞在活動を支援するレジデンス・プログラムを2022年からスタートします。

五城目町は秋田県中央部に位置し、500年以上続く朝市があります。人・モノ・情報が移動し、さまざまな文化が動的に交流するなかで培われた風土があります。

近年は、移住者が従来の業態にとらわれない生業を起こしたり、手仕事が増える土地柄を背景にもものづくりの工房を構えたりしています。地域の内と外の視点・価値観が混ざりながら、それぞれが精力的に活動しています。



滞在のアウトラインー成果物の完成を求めませんー

制作や将来構想に没頭できる環境で、中長期(1週間~1ヶ月程度)の滞在が可能です。ただし成果物の完成を必須とはしません。むしろ、まれびとが「ものかたりの滞在中を通じてどのような視点、あるいは刺激が得られたか?」「町に暮らす人々とどのような接点、コラボレーションの機会が生まれたか?」を重視します。

ものかたりの滞在中を通じて得られる経験とは?

滞在中は、ものかたりスタッフが例えば農業や手仕事(木工、酒造り等)、あるいは地域資源に新たな光を当てる事業や小商いの担い手と連鎖的に繋がり、対話する機会をコーディネートします。季節やタイミングによってはそれぞれの仕事を体験したり、アルバイトなどの働き手として現場を実感することもできます。

これらの経験を通じて、新たな視点や将来の着想が得られるかもしれません。

滞在制作の形態に応じた提案

同時期に一組の受け入れとなるため、滞在活動のニーズに応じてものかたりスタッフからの柔軟なサポートおよび提案が可能です。

例①【単独制作型】

—

チェックイン前より滞在計画を相談。期間を分けて長期間滞在し、制作や将来構想に集中できる環境で活動を進行する。

—

●調査先の提案(地域のさまざまな情報が集まる、廃校を活用したシェアオフィス、近隣のカフェ等での情報収集等)、ないしフィールド・リサーチへの同行など。

●制作や将来構想に集中できる環境の提供。



例②【共同制作型】

—

チェックイン前より滞在計画を相談。秋田県内のプロジェクトパートナーを定め、プロジェクト実現後、ものかたりほか秋田県内のアートスペースで発表を行う。

—

●調査先の提案(地域のさまざまな情報が集まる、廃校を活用したシェアオフィス、近隣のカフェ等での情報収集等)、ないしフィールド・リサーチへの同行など。

●五城目or秋田県内のさまざまな組織やグループとのパートナーシップ構築の提案、または工房(木工、皮革、陶芸等)への制作協力依頼など



例③【公開制作型】

—

チェックイン前より滞在計画を相談。フィールド・リサーチの過程を公開し、一般の参加者とともにリサーチを行う。

—

●公開型イベント企画および運営

●調査先の提案(地域のさまざまな情報が集まる、廃校を活用したシェアオフィス、近隣のカフェ等での情報収集等)、ないしフィールド・リサーチへの同行など。

●五城目or秋田県内のさまざまな組織やグループとのパートナーシップ構築の提案。



朝市について

毎月2、5、7、0のつく日に開催。豊かな自然の恵みの販売に加え、近年は定期朝市の日曜開催日を「ごじょうめ朝市 plus+」として、手作りアクセサリーや焼き菓子などのお試し出店、子ども対象の工作教室や子ども達自らが出店する取り組みなど、県内外から多種多様なお店が集まる。

—

HP: https://gojome.net/map_post/朝市/



工房について

五城目の工房をいくつか紹介します。他にも建具・鉄工・弓具・酒蔵など多様なものづくりの担い手があります。

• 革小物

「すずなり」

秋田市から移住してきた夫婦で営む革小物屋。

丁寧な暮らしを心掛けながら直感的な革ものをコンセプトにその時の自分たちと素直に向き合ったモノづくりをしている。

—

取り扱い商品: 財布、キーケース、サコッシュ、鏡、皮皿等

HP: <https://suzunari.handcrafted.jp/>



「すずなり」

• 木工

「佐藤木材容器」

五城目の山から頂く木材で「人と人をつなげる食」を、大切に確実に届けるための「容器」をつくっている。

その思いは今も変わらず受け継がれ、同じ「秋田杉」でもひとつひとつ異なる「木の性格」を読み取り、ひとつひとつ丁寧な手作業で仕上げています。

—

取扱商品: 木のお皿、コースター等

HP: <https://satomokuzaiyouki.jp/>



「佐藤木材容器」

• 陶芸

「三温窯」

植物の灰を原料とした釉薬を使い、日用雑器を中心とした陶器を制作している。

日々の暮らしの中で使うことによって、料理と器の両方が引き立て合う味わいのある使い易い器作りを目指し励んでいる。

—

取扱商品: 茶器、酒器、食器、花器等

HP: <http://sanongama.main.jp/>



「三温窯」

概要



「宿泊スペース」



「オープンスタジオ」



「ギャラリースペース」

作業言語：

｜日本語、英語(日常生活に問題がない程度)

プレゼンテーションスペース：

｜創作スペースに隣接

*アートギャラリー「ものかたり」(約80m²)

*備品についてはものかたりwebサイト「レンタルスペース」を参照

滞在期間：

｜1週間～1か月程度 ※期間を分けての滞在も可能

スタジオ数：

｜1個

定員：

｜最大3人程度

スタジオの種類とサイズ：

｜宿泊スペースの一階部分にあるオープンスタジオ

対応する分野：

｜特に問いません

提供する生活施設や環境：

｜大正期の蔵を改装した宿泊スペース

提供する芸術施設や環境：

｜宿泊スペースの1階にオープンスタジオがあり、弊社が運営するアートギャラリーが隣接しています。

車椅子でのアクセス：

｜不可

プライベートな同伴者の有無：

｜1人まで(ペット不可)。

*1泊目無料。2泊目以降から5,000円/泊

申請方法：

｜当面は招待制のみ

本プログラムへの出願料の有無：

｜無し

滞在中者が支払う費用：

｜現地までの往復交通費/生活費(食費など)

滞在中者への支援：

｜宿泊費/水道光熱費/活動および制作費の一部

｜滞在・制作・展示スペースの提供

｜地域交流のアテンド

｜宿泊費・水道光熱費の負担

アーティストへの条件：

｜特になし

アクセス：

｜ものかたりwebサイトを参照



ものかたりwebサイト